－令和3年2月 《第21号》－

津山市教育委員会通信

【津山市教育委員会】
〒708-8501 津山市山北520
電　話：0868-32-2112（教育総務課）
Eメール：kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

津山東中学校

コミュニティ・スクール設置に向けて

本市では令和３年４月より、コミュニティ・スクールを市内に導入する予定で準備を進めています。これにより、従来の学校評議員制度で培った「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へと発展的に移行し、学校・家庭・地域の連携協働による「学校と地域の活性化」の推進を図ります。

令和２年度よりコミュニティ・スクールのモデル校として、津山東中学校を指定し、「地域と学校が子どもの教育に責任を共有する津山東中学校地域協働学校」を目指しています。

【コミュニティ・スクール準備委員会の様子】

【津山東中学校通信「友愛ネット」より】

津山東中学校では、多くの方々にコミュニティ・スクールを理解していただくことを目的として学校通信「友愛ネット」やＨＰにて情報発信をしています。

コミュニティ・スクールの設置によって、地域と繋がる様々な活動を通して、地域との交流を深め、地域の方々に認められる機会が多くなり、子どもたちの自己肯定感の一層の醸成も期待されます。

清泉小学校

医療従事者へ感謝の気持ちを込めた応援歌贈呈

清泉小学校は１月７日、新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者の皆様に感謝の気持ちを込め、児童らが作詞作曲したオリジナル応援歌『みんな元気で笑顔に！』（ＣＤ）と児童全員が作った折り鶴約５００羽を津山市医師会に贈りました。

清泉小学校では、新型コロナウイルス感染症防止のため、様々な制約がある学習環境のなか、児童全員が心を一つにしてがんばろうという願いや、医療従事者の皆様への感謝の気持ちを伝えたいという思いのもと作詞や作曲に携わり、オリジナル応援歌を完成させました。

この応援歌の最後には「医療従事者のみなさんありがとう。希望の光が見えてくる。」という感謝の気持ちが込められており、医師会の皆様と一緒に、贈呈式当日に視聴しました。

宮本医師会会長は「初めての事態で重圧を感じるなか、このようなサポートをいただけるのはありがたい。日々の励みになります。」と謝辞を述べられました。このオリジナル応援歌は、運動会等で地域や保護者にも披露しており、地域を元気づけたことが高く評価され、令和２年度「つやま元気大賞」団体最優秀賞に選ばれています。

ネット・ゲーム依存や時間の使い方について考える親学講座

今年度より、様々な教育課題に対応し、親子がよりよく生きるきっかけづくりを目的とした「新しい親学講座」がスタートしました。

今回は、本市だけでなく全国的に深刻な問題となっているスマホ等の長時間使用によるネット依存・ゲーム依存を防止し、寝るまでの時間の使い方について考える親学講座の概要について紹介します。

右の調査結果から、子どもたちのスマホ等の利用時間が年々増えていることが分かります。

大変な問題です！

学年	小5				中1				中2			
年度	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1	R2	H29	H30	R1	R2
岡山県	37.0	31.0	33.3	39.8	40.8	37.4	40.8	45.4	46.6	42.6	44.1	48.2
津山市	39.5	38.7	42.0	45.7	45.0	44.7	43.1	50.5	52.7	50.9	52.9	54.6
対県比	▲ 2.5	▲ 7.7	▲ 8.7	▲ 5.9	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 2.3	▲ 5.1	▲ 6.1	▲ 8.3	▲ 8.8	▲ 6.4

平日（月～金）、テレビゲーム（コンピューター・携帯式・スマートフォンを含む）を２時間以上する割合　～県学習状況調査より抜粋～

平日、家に帰ってから寝るまでの間は長くても６時間くらいです。そのなかで、２時間以上をスマホやゲームに使うと、**「睡眠」「食事」「学習」「家族との会話」**など**大切な時間が削られていきます**。

これらの大切な時間を確保するためには、スマホ等の使い過ぎが危険であることを実感することから講座はスタートします。

STEP①
3つの事例からゲーム依存・ネット依存について学びます

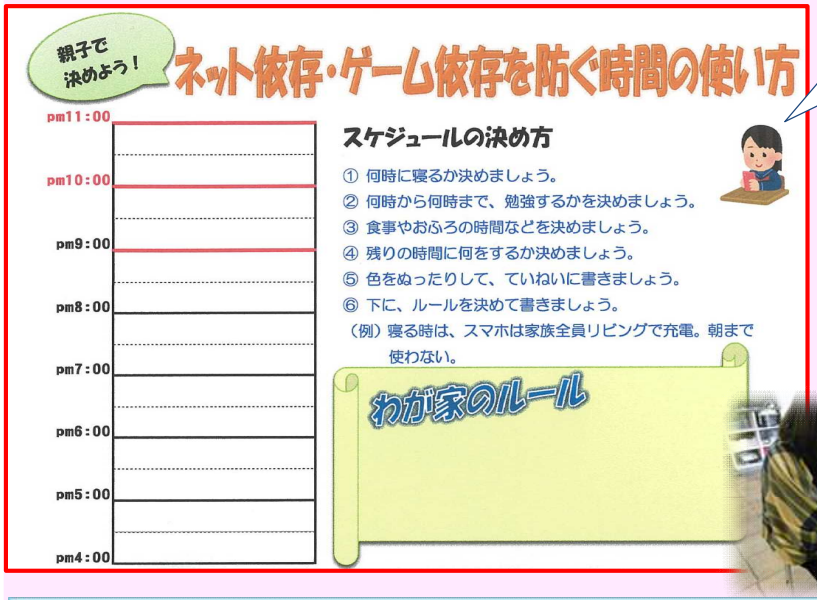
3人の例から
ゲーム依存・ネット依存を考えてみましょう

- ケース1
- ケース2
- ケース3

ネット依存専門外来で治療中の患者さんのケースをもとに、どのような状態が「依存」なのか、また**「依存症」は治療が必要な病気**であることを学習します。

【依存】⇒自分ではコントロールできない状態

【過剰使用】⇒依存の手前、お医者さんの診断を受けてもよい段階



STEP②
帰宅してから寝るまで（約6時間）の時間の使い方を考えます

親子で話し合って、大切な時間（学習・睡眠・食事など）を確保するスケジュールを決めます。「わが家のルール」も親子で一緒に考えます。

スケジュールを書くことで、初めて時間の使い方を意識したという声がたくさん寄せられています。

スマホに溺れないように、時間の使い方をしっかり考えるんジャー！

ネット依存防止キャラクター【スマホに溺れんのジャー】

【保護者の感想】
☆自分自身、ネット依存の一歩手前かもしれません。なかなかコントロールできなくなっていますが、改めて使い方を考えていこうと思いました。子どもに言う前に、まず自分からですね。このような講座を受けて、ネットの怖さなどを学べてよかったと思いました。定期的に行ってほしいです。☆スケジュールを、親がたてるのではなく、子ども自身と一緒に考える（子どもが自主的に考える）ことが大切だと気づきました。

「ゲーム・スマホ依存」を防ぐための親学講座は、学年・学級ＰＴＡ活動、放課後子ども教室等で実施できます。講師を派遣しますので、お気軽にご相談ください。
【問い合わせ・申込先】津山市教育委員会　学校教育課　家庭・地域連携係　TEL.３２－２１１４